事例No.	1786
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	兵庫県加古川市

事例区分	公営企業

タグ	・下水道事業 ・公共施設の集約化等 ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	広域化等

事例内容・タイトル

農業集落排水と公共下水道の接続等経営健全化に向けた取組

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【兵庫県加古川市】
農業集落排水と公共下水道の接続等経営健全化に向けた取組

広域化等　下水道事業

兵庫県加古川市上下水道局下水道課

● 取組の概要

持続的に施設の維持管理を図るため、農業集落排水施設を公共下水道施設へ接続替を行った。

◆総事業費　工事費　50,929千円

◆背景

- 今後想定される地域の少子高齢化により汚水処理単価の高騰や集落排水施設の老朽化に伴う維持管理費用の増大などの課題を抱えている。
- これらの課題を解決するために、現状施設の効率的な延命化対策が求められた。

◆具体的内容

- 農業集落排水事業により建設された処理施設（水すまし館）へ集められた集落の各家庭から排出される生活雑排水（汚水）を最寄りの公共下水道管へ新たに接続することで統廃合を行った。

◆効果

- 統廃合により、維持管理に要する費用が大幅に削減される（▲約6,920千円/年）。
- 接続に必要な整備費を考慮しても、統合から約8年間で投資に見合う効果が確認できる。

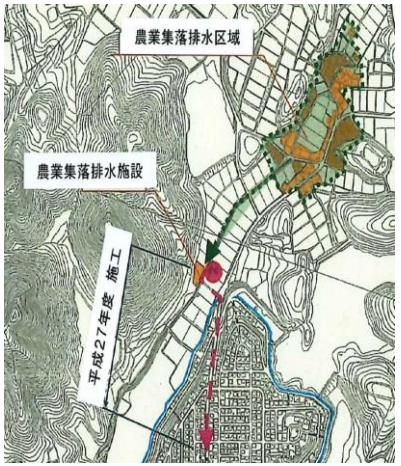
● 取組のポイント

- 統廃合するにあたり、経済比較等を検討した結果、公共下水道と接続をすることが最も効果的であるとの結論が出た。
- 農業集落排水施設と公共下水道接続箇所に高低差があるため、自然流下が不可能であることから、マンホールポンプを設置することで公共下水道へ接続を行った。

● 公営企業情報

- 行政区域内人口　261,661人（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　138.48km^2（令和4年1月1日時点）
- 処理区域内人口　232,117人（令和3年度決算）

統合接続図



● 取組のスケジュール

- 平成26年度に検討を開始し、平成28年1月に工事着工。
- 平成29年3月から運用開始。

● 今後の展望

- 施設建屋は近年多発する災害に備え、地域防災対策の機材等の備蓄倉庫として利用している。また、施設にある処理槽については、停電やマンホールポンプの故障等に備え、貯留施設として利用を考えているため、今後も点検維持を継続的に行う。